

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿南教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援での気づき・ヒヤリハット・改善提案等、スタッフ間で共有する機会を設け、日常的に情報共有できている。	・朝会やGMで、スタッフが日頃の気づきや共有したいことを発信できる場を設けている。	・引き続き、朝会・GMの他、チャットや連絡ノートも活用し、情報共有をこまめに行っていく。 ・パートさん・ドライバーさんにも必要な情報共有が確実にできるよう、連絡ノートの活用や、伝達を意識的に行う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室のスペースや職員の配置で、支援内容に制限が生じてしまうことがある。	・マンツーマン対応が必要な児が複数いる。 ・1フロアのつくりであり、利用者人数に対してスペースが狭い。 ・個室が一部屋しかない。	・限られたスペース・職員の配置の中でも活動内容の工夫(室内・外の分散活動など)をして、安全の確保と一人一人に合った支援の提供の両立を目指す。 ・クールダウンに使用できる個室が一部屋しかないため、必要に応じて事務所や1階スペースの解放を検討する。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども松本寿南教室

公表日 2026年3月26日

利用児童数

34

回収数

20

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19		1		・活動の場が2階だったので、昇降に不安を感じた。練習をたくさんしてくれ、今ではスムーズにできるようになった。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16		4		・子供たちの安全を考慮した、安心して預けられる施設となっていると思います ・玄関入口、階段上がった所に足元クッション？があり、強度行動障害の子にいいと思う	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20		0			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19		0			
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19		0		・今回、運動会を他事業所と一緒に行った。できたら、親も様子をみれば嬉しい(任意)	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19		0			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20		0			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		13			
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20		0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19		0			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	5		
	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1		・子どもがアザや傷作って帰って帰ってきた際に、結局学校なのかデイサービスかどちらかわからないことがある。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2		・避難・救出訓練が行われているのか
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0		・祝日が13時から15時に変更になりましたが、16時くらいまで預かってもらえるとうれしいです。送って家に帰ってまたすぐお迎えに出る必要があるため少しでも長くしてもらえると助かります。兄弟もいるので普段連れて行ってあげられない場所に行けたりと祝日預かりはとてもありがたかったので、検討よろしくお願いします。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		みらいこども松本寿南教室		公表日		2026/3/26	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・いろいろな事業所を見てきたうえで比べると、職員の数、子どもの数、部屋数や構造化、またそれに対する活動内容等どれも改善を考えなくてはならない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	・1対1でつかなければならない子どもが多い中、研修や支援会議等でスタッフが抜けると支援が回らなくなる時がある。安全な支援を行う上では、少なくとももう一人は大人が必要。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・職員は日々限られた時間とスペースで一生懸命仕事を行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	・第三者の評価は不明。また、保護者の方々による評価の機会もさらに増やしていければ良い。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0			

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・伊那では行っていた朝会が、ヘルパーの出勤と相まって行うことができていない。また支援の振り返りも個々で記録に書くが、大きなことがない限り共有があまりされていないように思う。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿北教室		
○保護者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年12月8日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごと活動が決まっており、それを楽しみに利用者さんが来所されている。	マンネリ化しないように頃合いを見て活動内容を変えている。	水曜日の社会体験がペットボトルのラベルキャップ取り、アルミ缶の仕分け、出荷。終わったらダンス活動と内容があまり変わらないので、違ったお仕事が追加できると良い。
2	日々、GMや朝会で支援内容の振り返りを行っている。	些細な事でも気になったら仲間に伝えるようにしている。気になったままにしない。	それでも言いづらい事などあるので、1on1で意見を言しやすい環境を作る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容があいまい。	漠然とした動きは理解できているが、細かい所まで決められていない。アバウトに感じてしまうところもある。	活動決めの時に細かく決めておく。
2	養護学校と支援級の利用者さんが来ているので、活動内容が難しすぎるか、簡単すぎるかになってしまう事がある。	同じスペースで活動している為。	活動中は活動レベルに合わせてチーム分け、分けたチームのレベルに合わせた活動内容にする。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 miraiこども松本寿北教室

公表日 2026年3月26日

利用児童  
数

36

回収数

10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1  こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10		0			
	2  職員の配置数は適切であると思いますか。	10		0			
	3  生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10		0			
	4  生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10		0			
適切 な 支 援 の 提 供	5  こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10		0			
	6  事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10		0			
	7  こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10		0			
	8  放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10		0			
	9  放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9		0			
	10  事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9		1		・曜日で活動内容が決まっているので曜日を変えてみるはどうでしょうか	
保 護 者 へ の 説 明 等	11  放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		6		・11番は特に必要ないと感じていますが、今のままで大丈夫だと思います。	
	12  事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10		0			
	13  「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10		0			
	14  事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10		0			
	15  日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10		0			
	16  定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10		0			
	17  事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10		0			
	18  父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		1			

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		・避難経路等の表示が出入口にあると良いかと思う
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0		

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本寿北教室		公表日		2026/3/26	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・2階に上がるための階段が狭い。柵が壊れてすぐに駐車場に行けてしまう。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・清掃が行き届いていないところがある ・活動スペースごとに仕切りを付けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・不調になってしまった場合に個室を利用したり、1階の部屋を利用したりとその都度工夫はできていると思う	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・保護者の方の意見が少ない為もう少し機会を増やせるといい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・面談を半年に一度やっているところ。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・外部評価されていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・正職員だけでなくパートさんまで広げるための工夫が必要かなと思う	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・活動プログラムについての話し合いがあまりできていない	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3		・伝え漏れ等あるため目で見える方法で残していけるといい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		・送迎時間の関係でなかなかその日中に支援の振り返りをするのが難しい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0		・何の情報が必要なのか事前に話し合い。学校等から情報をいただいている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		・地域の児童との交流がない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		・活動内容を変えていき利用者の方が飽きないようなプログラムを提供、周知している
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・面談等で保護者の意向は聞いているが、こども本人の意向を確認する機会をもっと増やしていければいいと思う	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本松原教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和7年11月15		～ 令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育を中心とした療育を行い、子ども同士の関わりを通して社会性や協調性を育む支援を行っている。	一人一人の特性や発達段階を踏まえ、無理なく活動に参加できる療育内容を工夫している。	支援内容の振り返りや情報共有を行印柄、子どもが安心して参加できる療育の充実を図っていく。
2	身体を動かす活動など様々なプログラムを取り入れ、楽しみながら参加できる環境づくりを行っている。	子どもの興味や関心を取り入れながら活動を計画し、意欲的に参加できるよう工夫をしている。	活動内容の見直しを行いながら、継続して通いやすい環境づくりに取り組んでいく。
3	職員同士で情報共有を行いながら、子ども一人ひとりに合わせた関わりを意識して支援を行っている。	日々の支援の振り返りや情報共有を行い、支援内容の統一を図っている。	職員間の連携をさらに深め、支援の質の向上につながるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数が日によって変動があり、安定した利用につながりにくい状況がある。	利用者様の予定変更や体調不良等により、当日のキャンセルが発生することがあるため。	保護者や関係機関と連携し、継続して利用しやすい環境づくりを進めていく。
2	子ども一人ひとりの特性に応じた支援の充実が求められる。	利用者様の特性が多様であり、支援方法の共有や検討が必要となる場面があるため。	職員間での情報共有や振り返りを行う、支援の質の向上を図る。
3	事業所の取り組みについて、関係機関や地域への周知をさらに進める必要がある。	情報発信の機会が限られているため。	関係機関との連携を深めながら、事業者の活動について理解を広げていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども松本松原教室

公表日 2026年3月26日

利用児童数

38

回収数

13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		0		・活動スペースがきちんと取られていて安全だと思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13		0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12		1			
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11		1			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13		0		・夏は他のみらいの子供とプールなどの活動で交流があってよかった。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6		7			
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12		1			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12		1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12		1			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		4				

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12		0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12		0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12		0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12		0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12		0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12		0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12		0		・イベントなどたくさん楽しんで通所している。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11		1		・空きがでたらお知らせ等してくれるとありがたいです ・送迎の場所がもう少し自宅近くならありがたいなと思っています。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		みらいこども松本松原教室				公表日	2026年3月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・問4、清潔感を持ち過ごしやすい環境ではあるが、トイレ前の廊下に光が入らず低学年の利用者様は安心してトイレに行ける環境ではない。安心して行き来出来る環境作りが必要だと思う。 ・トイレが暗くて怖い児童がいるので改善できればよいと思います		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	・体を動かす場所、落ち着いて過ごす場所が分かれて子どもたちからも分かりやすく、分かれてはいるが支援者が全体を見回しやすい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・問10・会社の方針やマナーが浸透していない職員さんもある為、みらい人研修等で身だし並等、分かりやすく表記されているものを配布してもいいと思う。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・面談を行った後に議事の読み合わせ等で保護者の方ニーズや今後の支援方法を担当職員以外も把握できる機会がありよい。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・朝会等で、支援の振り返りを行っている 為1人1人が利用者さんの様子を知り共有 できる体制が整っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・支援の振り返りは必ず行い、必要に応じて支援内容の修正を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・保護者面談等で、みらいへの要望等を聞ける機会があることで保護者様の意見をもらいやすい環境になっている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・個人情報の取り扱いについて、SNSへの顔出しがNGな利用者さんのリストがあり把握しやすく全体で管理を行えている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本平田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年11月15		～ 令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、それぞれの成長や課題に合わせた支援を大切にしている。	日々の活動後の振り返りやミーティングを通して様子を共有し、職員間で支援内容の確認を行いながら統一した支援を行っている。	職員研修や支援の振り返りを行いながら、利用者様一人ひとりに大路田支援の充実と療育の質の向上を図っていく。
2	利用者様が安心して過ごせる環境づくりを大切に、放課後の居場所として落ち着いて過ごせる空間を提供している。	日々の記録やミーティングを通して利用者様の様子を共有し、安心して活動へ参加できるように環境づくりやわかり方を意識している。	職員間の連携をさらに深め、利用者様が安心して過ごせる環境づくりと支援の質の向上に努めていく。
3	保護者様との連絡をこまめに行い、ご家族との連携を大切にしている。	個別支援計画に基づいた支援を行い、活動の様子やご利用者様お成長について保護者様と共有することを大切にしている。	保護者様との情報共有の機会を大切に、家庭と事業所が連携した支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当日キャンセルが一定数あり、利用状況が安定しないことがある。	利用者様の体調不良や家族の事情などにより、予定していた利用が直前で変更になる場合がある。	保護者様との連絡や利用予定の確認を行いながら利用状況の把握に努め、安定した利用につながるよう取り組んでいく。
2	関係機関との連携をさらに深めていく必要がある。	学校や軽暖支援専門員等との情報共有の機会をより充実させていく必要がある。	学校や相談支援専門員などの情報共有の機会を大切に、連携を図りながら利用者様の状況に応じた適切な支援につなげていく。
3	保護者様との情報共有をさらに充実させていく必要がある、	利用者の様子や成長について、家族と共有する機会をせり増やしていく必要がある、	日々の連絡や面談を通して保護者様との情報共有を行い、家庭と事業所が連携した支援の充実を図っていく。

	公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
--	----	-------------------

事業所名	みらいこども松本平田教室	公表日	2026年3月26日		
		利用児童数	26	回収数	10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10		0			身体を思いきり動かせるスペースがあり、静かに学習をするスペースもあってとても良いと思う。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9		1			限られた職員の中で対応していただいていると感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8		1			が足裏を真っ黒にして帰ってくるのが続き、施設の床を歩くと真っ黒になるようだったので改善や対策が必要だ
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10		0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9		0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9		0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10		0			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10		0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10		0			毎月、次の月の予定が届くので、親もどのような活動をするのか分かる。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		6			11は、わからなかった為、いいえにしました。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10		0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10		0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10		0			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9		0			
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9		1				

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0		いつも子どもの活動参加の様子など丁寧に教えて下さっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	0		子どもが毎週楽しく行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0		送迎時間をしっかり守ってほしい！

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本平田教室				公表日	2026年3月26日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	・個室がないので、個別でお話をするときや体調不良のときは事務所を使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・平田教室は保護者様の評価はまだやっていないため、今年度の評価をみて改善できるところをしていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	る場所までは避難練習はしていないので、避難場所まで避難をする練習をとりいれていく。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	0			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本寿北教室		
○保護者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年11月15日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数でしっかり見れる	少人数での活動なので、子ども達の様子がしっかり見れ、前向きな声掛けをたくさんする事が出来ている。	少人数でしっかり利用者さんのサポートの仕方を身に付け、小集団になっても同じように細かい所までサポートできるように育成が必要。
2	計画書に沿って支援を提供することが出来ている。	GMで支援に入るスタッフ皆で計画書を見ている。支援の方向性や確認など意見を出せる環境もある。	事業所内での話し合い、意見のすり合わせは出来ているが、保護者さん、相談員さんも交えた話し合い、意見のすり合わせの場をこまめに持てると良い。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普段日常の様子が知りづらい	短時間での療育活動に絞っているため、特定の環境での様子を私たちは知ることができます。しかしながら、お子さんの経験する多様な場面の様子の情報がなく、活動の課題設定が偏る懸念がある。	保護者様や関係機関様からの情報収集を丁寧に行い、今の発達にちょうどいいタイミングの経験や体験を作っていくように活動を作っていく。
2	少人数過ぎる。	利用者さんが1名の時もあるので、集客などして利用者さんを増やし、小集団の活動が出来るようにする。	利用してくれている児童の園にパンフレットを置いてもらう。 インスタで宣伝していく。 計画相談の方に空きがある事を伝えていく。
3	活動スペースが少し狭い。	松原や平田は広いスペースでのびのび動く事が出来るが、北教室は気を付けないとすぐ壁になってしまう。	今から増築などは難しいので、スタート位置を変えたり、 unnecessaryなテーブルや物はどかして活動をする。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども松本寿北教室

公表日 2026年3月26日

利用児童

数 11

回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3		0			教室全体を使って体操を行っていて良いと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3		0			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3		0			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3		0			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3		0			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3		0			子供に合わせた支援がされていると思います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3		0			
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2		0			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3		0			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		0			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3		0			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3		0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		0			他の保護者の方と交流できる場が少ないと思います。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3	0			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0			インスタに活動の様子がわかる写真をあげてくれる。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	0			避難訓練時、防災頭巾をかぶる体験をさせてくれた。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	0			何かあれば連絡をいただけるのは助かります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3	0			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	0			子供が楽しめるものを提供してくださっています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	3	0			

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本寿北教室		公表日		2025年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	0	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	0	2		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	2		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	2			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0			
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	2	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0		

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいこども松本平田教室		
○保護者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和6年11月10日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達段階に応じた個別支援を行っている。 成功体験を大切に「できた」「楽しい」を積み重ねることで、自信や意欲へつながる支援	「できないこと」に着目するのではなく、現在できていることや強みを捉え、次の成長につながる支援を考えることを意識している。また、小さな成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や挑戦する気持ちが育つよう関りをおこなっている。	支援内容や活動の様子を事例や通信で発信するとともに、子供たち一人ひとりの発達状況を踏まえながら、個別支援計画書に基づいた支援を継続し、定期的に振り返りと見直しを行い支援の質の向上を図る。
2	小集団を通じて社会性や基本的な生活習慣の基礎作りを大切にしている 遊びや活動の中で、順番ややりとり、ルールなどを自然に学べる環境を整え、 子ども同士のかかわりを大切にした療育を行っている。	安心して活動に参加ができるよう、見通しを持っている活動の流れや環境設定、声掛けを意識し安心して挑戦できる環境づくりを大切にしている。	相談支援専門員や関係機関との情報共有を大切にし、連携会議や情報交換を通じて、こどもの状況に応じた適切な支援につなげていく。
3	支援会議や面談を通じて保護者と情報共有を行い、子どもの様子や成長について共通理解を図りながら支援を行っている。	療育の様子や成長を具体的に伝え、家族と一緒に子供の成長を支える意識を大切にしている。 また、保護者様から安心し得相談ができる関係づくりを心掛けている。	保護者様との情報共有の機会を大切にするとともに、関係機関とも連携しながら家庭も含めた支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の利用につながる機会が十分に広がっていない。	サービス内容や支援の特色が具体的に伝わっていない	相談支援専門員への定期的な情報提供を行うとともに、事業所の支援内容や活動の様子を事例紹介や通信などを通して発信し、事業所の取り組みをわかりやすく伝えていく。
2	相談支援専門員への情報発信が十分といえない	定期的な情報共有や関係構築の機会が少ない	相談支援せつもんいんや関係機関との情報共有を大切にし、訪問や会議への参加、情報交換などを通じて関係づくりを進め、子どもの状況に応じた適切な支援につなげていく。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらいこども松本平田教室

公表日 2026年3月26日

利用児童

数 6

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2		0			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2		0			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると	1		1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います	2		0			
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある	2		0			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	2		0			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的	2		0			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援	2		0			
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2		0			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	1		1			
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこ	1		1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	2		0			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされました	2		0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	0		2			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状	2		0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1		1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2		0			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	0		2			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	0	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	2	0			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	2	0			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ	0	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	0	1			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される	1	0			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡	1	0			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2	0			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	0			
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0			

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	みらいこども松本平田教室		公表日		2025年3月26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	1	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	0		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	1	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	0	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	0	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	0	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	0		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	0	0			
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	0	0			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	0	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	0	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	0	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	0	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	0	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	0	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	0	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	0		